

		(2) 農漁村の部について……………	林 技 官
41	昭38. 2. 27	ニューヨークにおいて開催の「第12回国際連合人口委員会」出席帰朝報告……………	館 技 官 (調査部資料科)

研 究 資 料 の 刊 行

本誌第86号本欄記載以後の刊行研究資料は次のとおりである。

<No. (発行年月日)>	<資 料 題 名>	<担 当 者>
152 (昭37. 10. 20)	出生力の構造変動と再生産人口学の発展 ——欧米諸国における出生力の体制的変動の分析——	黒 田 技 官
153 (昭37. 12. 2)	最近の人口に関する統計資料 増補改訂第8版(第3分冊その2)	山 口 技 官 (調査部資料科)

館 所 長 韓 国 視 察

館所長は、1962年11月30日より12月13日まで、ニューヨークのポピュレーション・カウンシルの要請のもとに、大韓家族計画協会の招きにより、国立公衆衛生院久保秀史、村松 稔両氏とともに、韓国を訪問、家族計画普及政策の概況視察を行なった。館所長の韓国滞在中の主要旅程はつぎのごとくであった。ソウル(11月30～12月6日)——保健所見学、保健社会部次官に面会、ソウル大学校公衆保健大学院人口問題研究所および付属病院見学、国立保健院見学、経済企劃院統計局長、経済計划局長および課長等より人口統計に関する事情聴取、国立化学研究所見学、ソウル商科大学校の教授・助教授の懇談会に出席、ソウル医師会で講演。大邱(12月6日～7日)——慶北大学校および東山キリスト病院見学、保健所長、家族計画指導員および一般医師の会合に出席。釜山(12月7日～8日)——医師会の会合に出席、保健所にて講演。ソウル(12月9日～13日)——延世大学校の教授との懇談会に出席、郊外の面における出生力調査を見学、東亜製薬会社見学、大韓家族計画協会の最終討議に出席、経済企劃院の会合にて意見交換。

館所長第12回国連人口委員会に出席

館所長は、1963年2月4日より同15日までニューヨークの国際連合本部で開催された第12回人口委員会に出席した。今会期に代表の出席した国はつぎの18か国である。ベルギー、セイロン、中国、エルサルバドル、フランス、ガーナ、ギリシア、インド、イタリア、日本、メキシコ、シリア、ウクライナ、ソ連、アラブ連合(エジプト)、連合王国、アメリカ合衆国およびウルグアイ。その他オブザーバーとして、リビアおよびエーゴスラビアの2か国、ならびに専門機関よりILO、ユネスコ、FAOおよびWHO、協力民間団体より国際人口学会ならびに多数のキリスト教団体が参加した。アジエンダはつぎのとおりである。

1. 役員選挙、2. 議事日程の採択、3. 出生力を主眼とする世界人口の現状、4. 開発途上にある諸国を主眼とする人口および経済的社会的発展、5. その他の人口学的調査研究の進ちょく、6. 人口学的地域活動、7. 世界人口センサス計画：調査結果の評価と分析、8. 人口会議、9. 人口の分野における1961～62年の活動の進ちょくおよび1963～64年の活動計画、10. 次回会期の時と場所、11. 経済社会理事会に対する報告の採択。